■TableEditorは!!

開発者向けのテーブル定義ツールです。

複数名でソフトウェア開発するときにとても便利です。

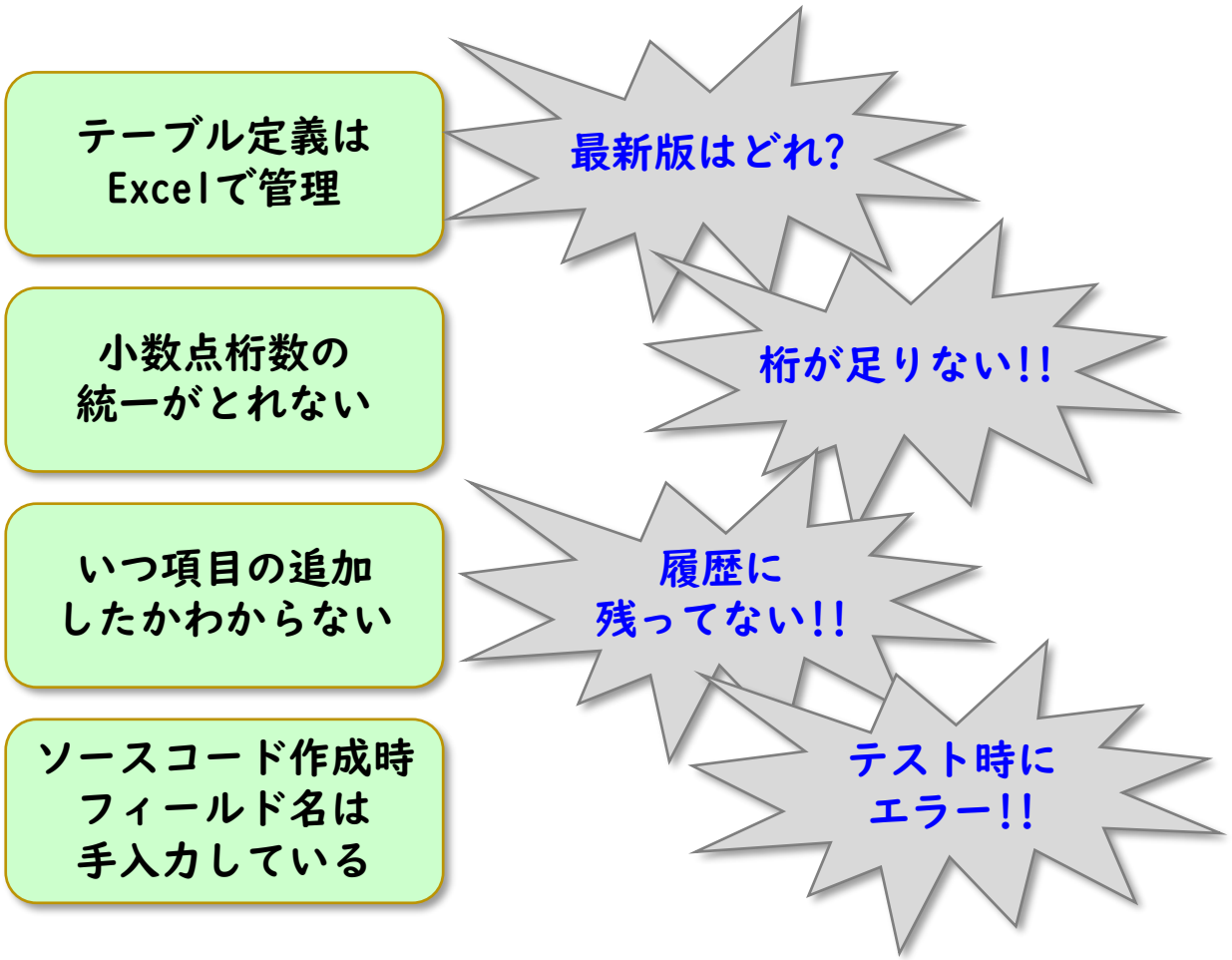
～ソースコード作成支援機能もあります。

世の中には、いろいろなツールがありますが…高価だったり、

あの機能があれば…とかを解決するものです。(多機能すぎて…)

✓あたり前ですが…

- 多くの会社(上場企業も含む)で、テーブル定義を管理するのにExcelファイルを利用されています。
- Excel管理(ERツールは効果ですよ)では、限界がありすます



作者へ連絡は、nasubyjp@gmail.com まで
ご利用に際しては、最終ページの「ご利用について」をお読みください。

特徴!!

✓対応しているデータベース(管理できるもの)

Access(MDB形式) / COBOL / MySQL / Oracle / SQL Server / PostgreSQL / テキストファイル (フラットファイル)

✓その他

データベースではありませんが、システム開発をする上で必要な情報を格納

プログラム管理 /　メンバー

✓リバースエンジニアリング

Access(MDB形式) / Oracle / SQL Server / MySQL / PostgreSQL

⇒　PostgreSQLは、TableEditorとは別に Setup が必要です。

最新モジュール内の、Setupフォルダの「SetUp」を実行してください。

✓ドメインの定義(繰り返し使用する項目名/型などの登録する)

✓値の制約(0,1,2…)

✓SQLServer

・ログテーブルの作成(別のツールで対応)

SQLServerTools(リンクで対応していなす)

✓Postgresql

・Partitionテーブルの作成支援

・Partitionテーブルの実テーブル作成支援

・ログテーブルの作成(Trigger含む)



■TableEditorの構成

1).プログラム本体等

フォルダ

C:¥Program Files (x86)¥TableEditor

tableEditor.exe プログラム等

key.bmp　　キーの図(Excelファイル出力時使用)

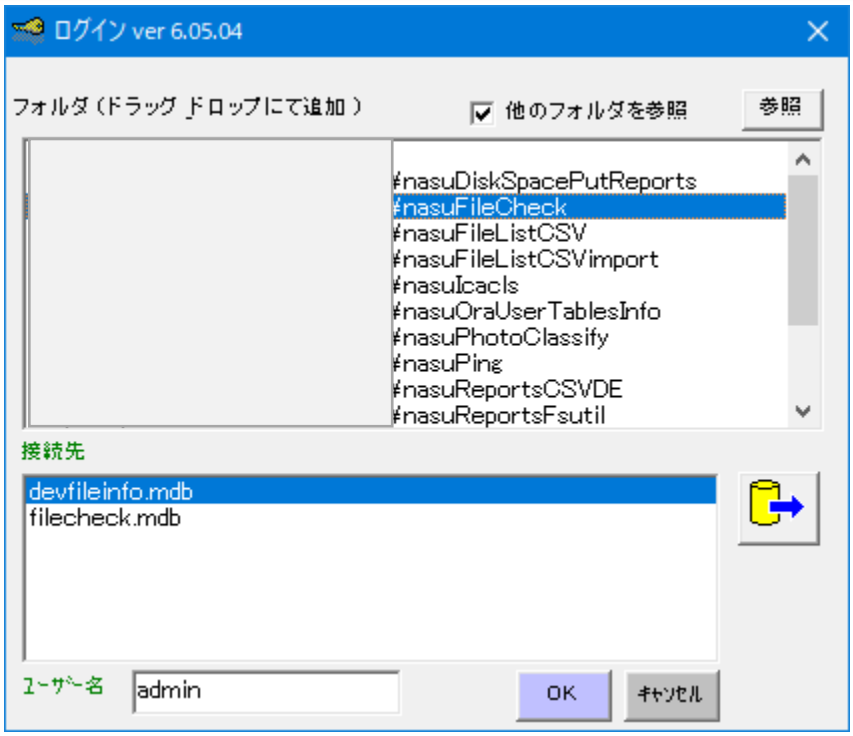
Reverse.exe　　リバースプログラム

…などなど

2).TableEditorで作成したテーブル定義

Accessのファイルに保存されます。

保存場所は、任意に指定可能。(共有サーバーに配置すれば複数で参照可)



■インストール

VB6.0で作成しています。

申し訳ございませんが、インストールをしてください。

1).ダウンロードファイルは2つあります。
TABLEEDITORSETUP.zip
TABLEEDITOR.zip
～ http://nasubyjp.gl.xrea.com/table001.html
からダウンロードしてください。

2).TableEditorのセットアップ
TABLEEDITORSETUP.zipを適当なフォルダ解凍し、「setup.exe」をダブルクリックしてください。(完了後、ファイルは手動で削除してください)
～ C:¥Program Files (x86)¥TableEditor にインストールされます。
インストール中に、「バージョンの競合」が表示されますかので、[はい]を選択してください。(現在のファイルを保持します)

3).TableEditorの最新版を適用
TABLEEDITOR.zipを適当なフォルダ解凍し、2)でインストールされたフォルダへ複写してください。

重要

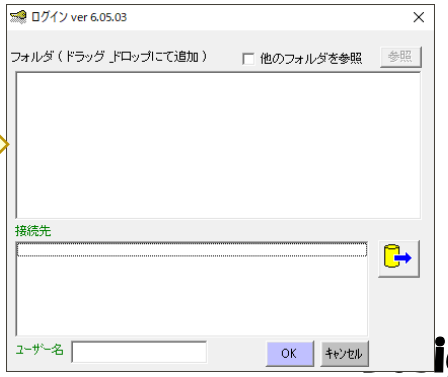
4).2)で作成したフォルダにアクセス権(フル権限)を付与する。

5).ショートカットの作成
ショートカットは作成されないので、自力でお願いします。
TableEditor.exeのショートカットです。

6).後始末。
ダウンロードしたファイル、解凍したファイルは手動で削除してください。

7).起動

これが表示されたらOK



■流れ…インストール後の流れです.

1).初期化データベースの作成

　テーブル定義等を保存する入れ物(Access)

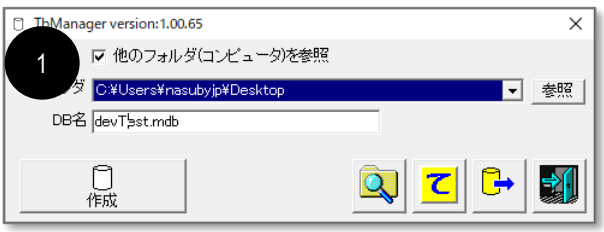
2).システムの作成

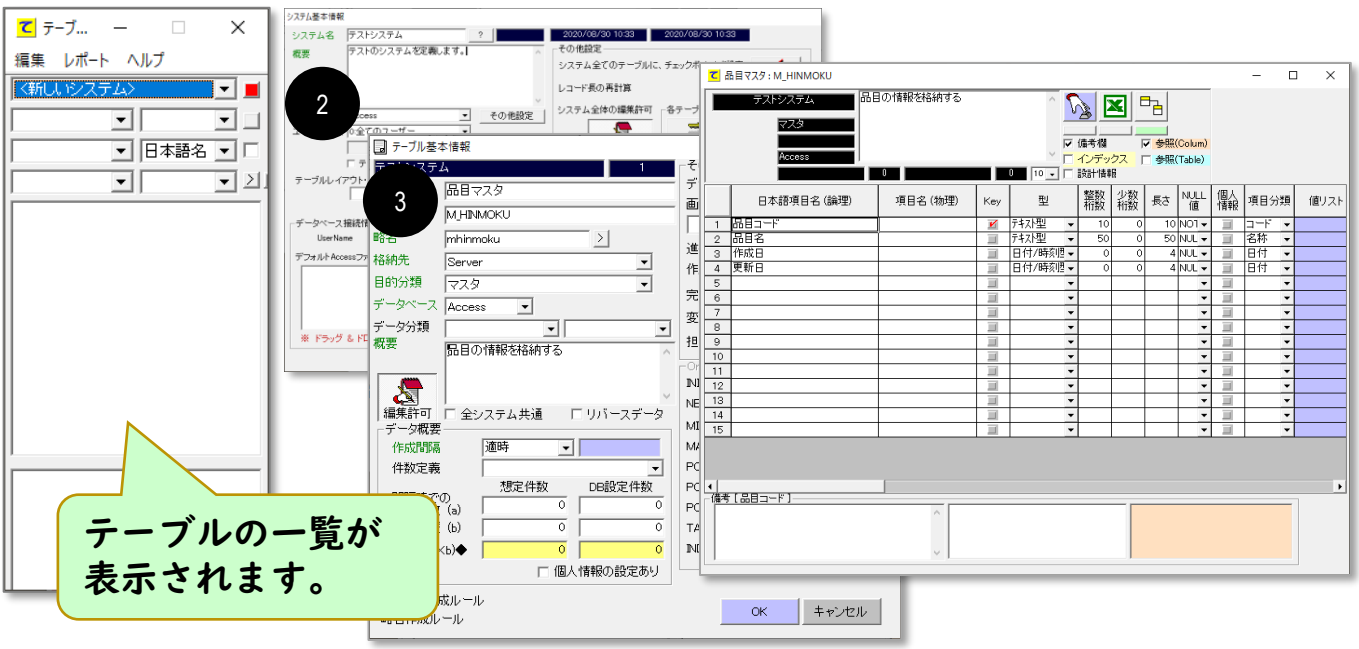
　テーブル定義のシステム名を設定(一つの初期化DBで複数化)

3).テーブル情報を登録し、項目を入力する

　○○マスタとか。その後項目名を入力する

初期化データベースの作成 → システムの作成 → テーブル情報項目名





初期化データベースの作成

データベースの定義を保管する入れ物(Accessファイル)を作成する手順です。

1).[初期化データベース」ボタンを押す。

2).フォルダ名とDB名を入力

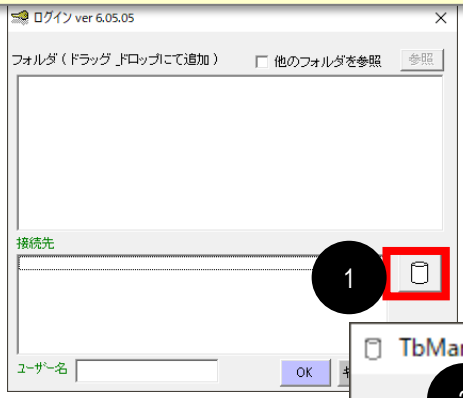
「他のフォルダ～」に✓(チェック)します。

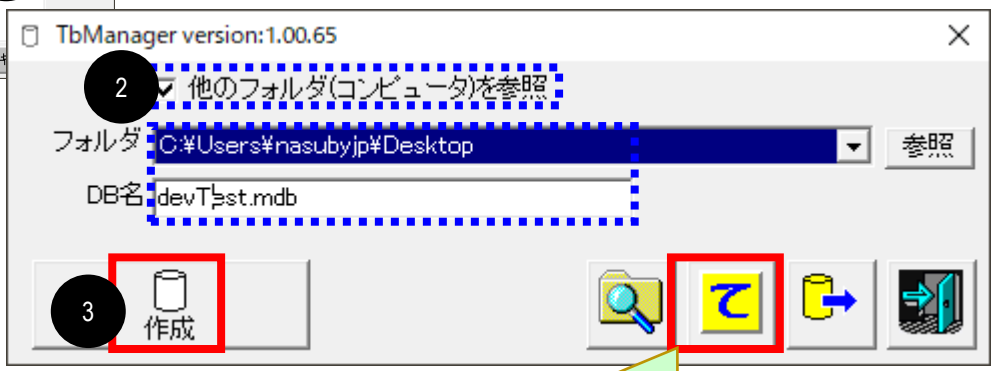
～チェックしないとインストールフォルダに作成されます。

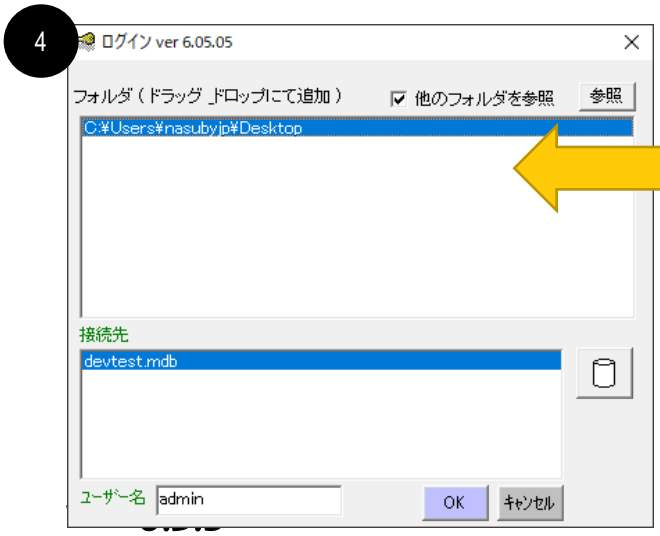
～作成するときの命名規約は決めたほうが無難.「dev～」にしています。

3).[作成]ボタンを押す。

4).正しく作成されると、初期データベースが表示されます。







TableEditorを起動し[参照]で、作成先フォルダを選択すると、ログイン画面に表示されます。

システム名の登録

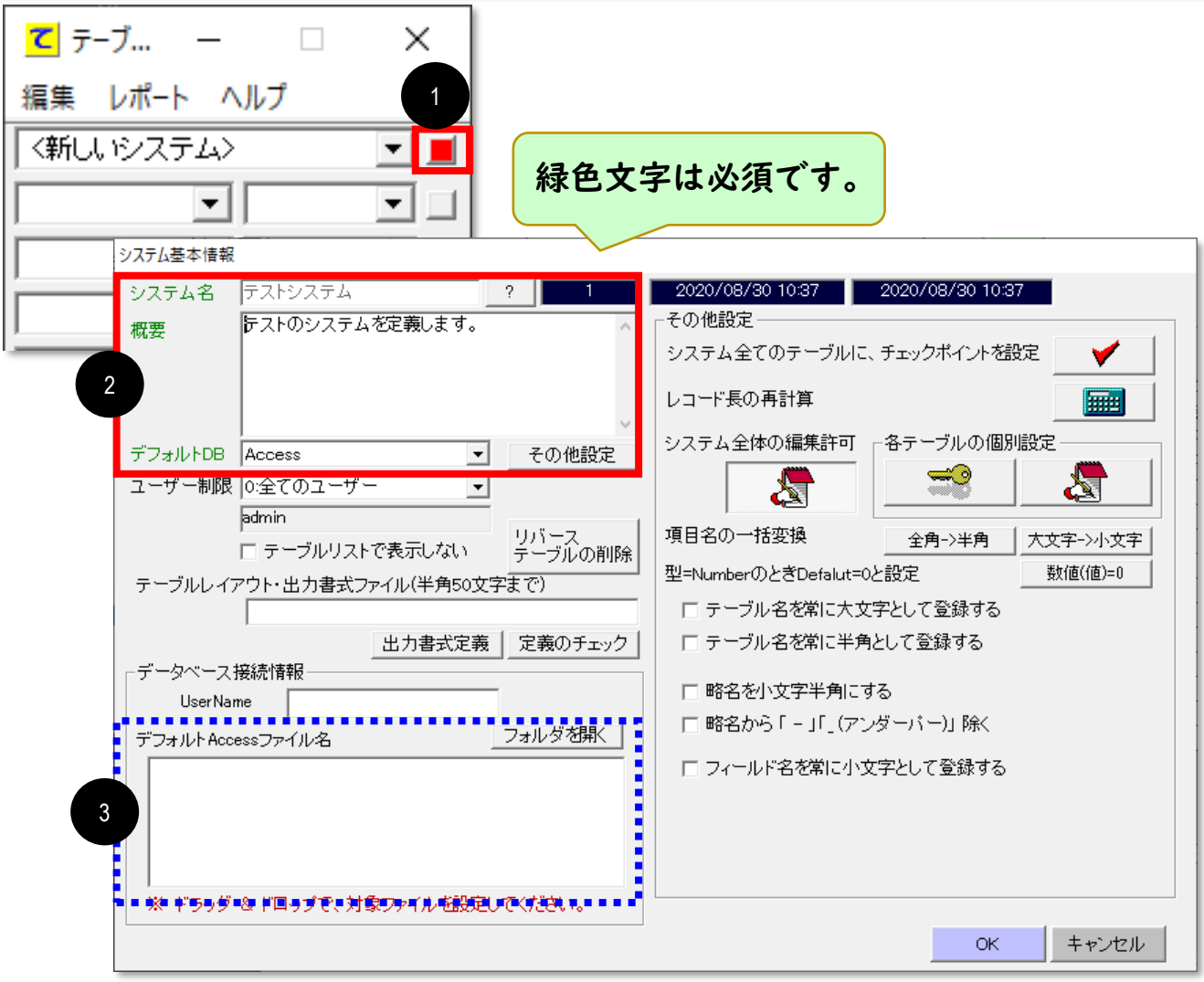
システム名は、複数登録することも可能です。

①「新しいステム」を選択し、■を押す。

② システム名、概要、デフォルトDB…その他を入力して、[OK]ボタンを押してください。

③ デフォルトDB=Accessにしファイル名を指定した場合、テーブル項目名を入力⇒TableEditorから直接反映させることができます。
～追加/変更だけです。削除は対応していない。

※　その他。便利機能もあります。



テーブル基本情報を登録

テーブルの基本情報を登録します。

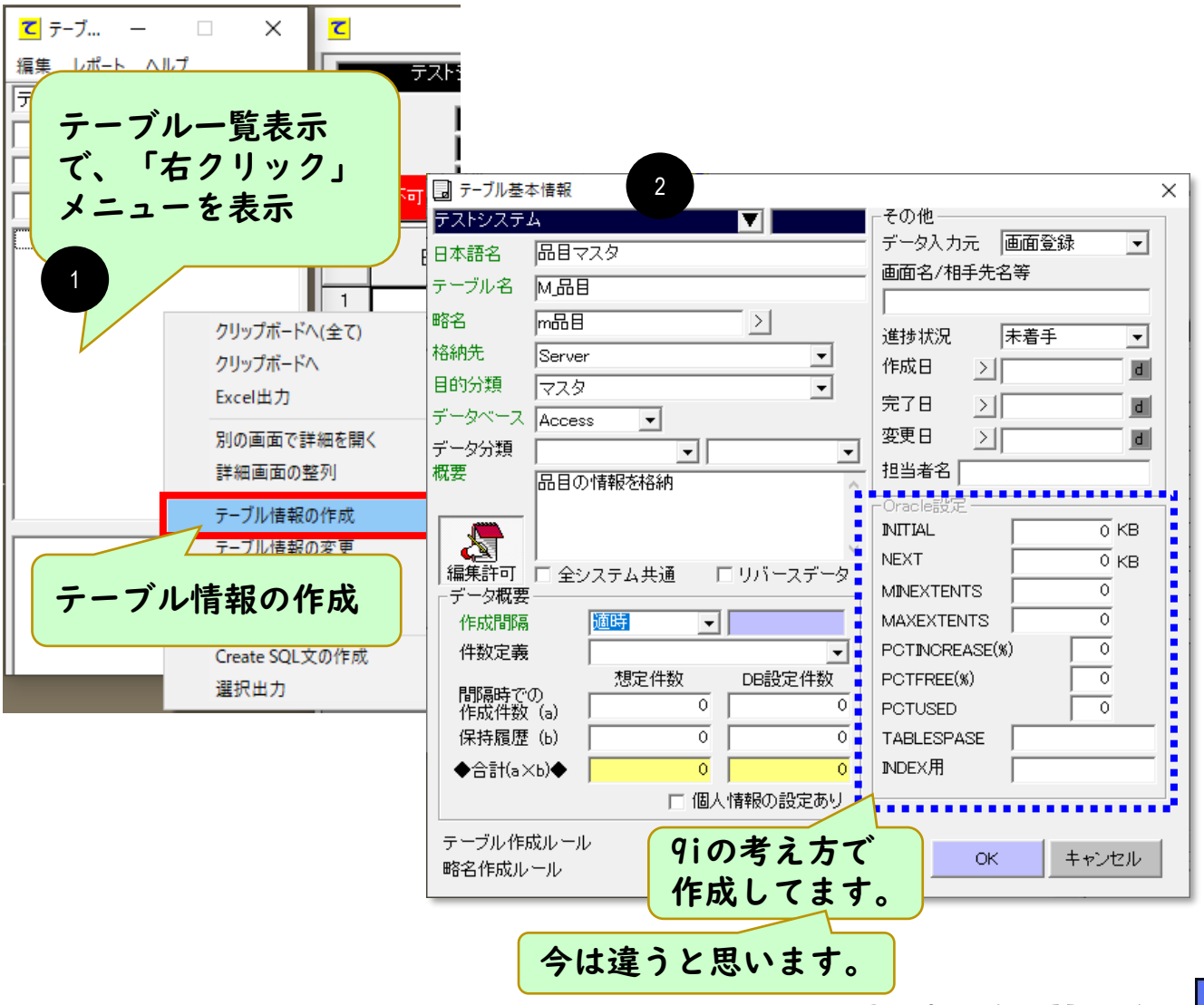
① テーブル一覧の画面で、「右クリック」⇒「テーブル情報の作成」をクリックしてください。

② テーブル基本情報を入力し[OK]ボタンを押す。

略名・・・Oracle用です。INDEXを作成するときにヘッダとして追加

データベース・・・テーブル毎に定義可能です。システムで複数のデータベースを利用する場合に設定してください。

作成間隔・・・おおよそのデータを作成するタイミングを記述してください。



テーブル項目名の登録

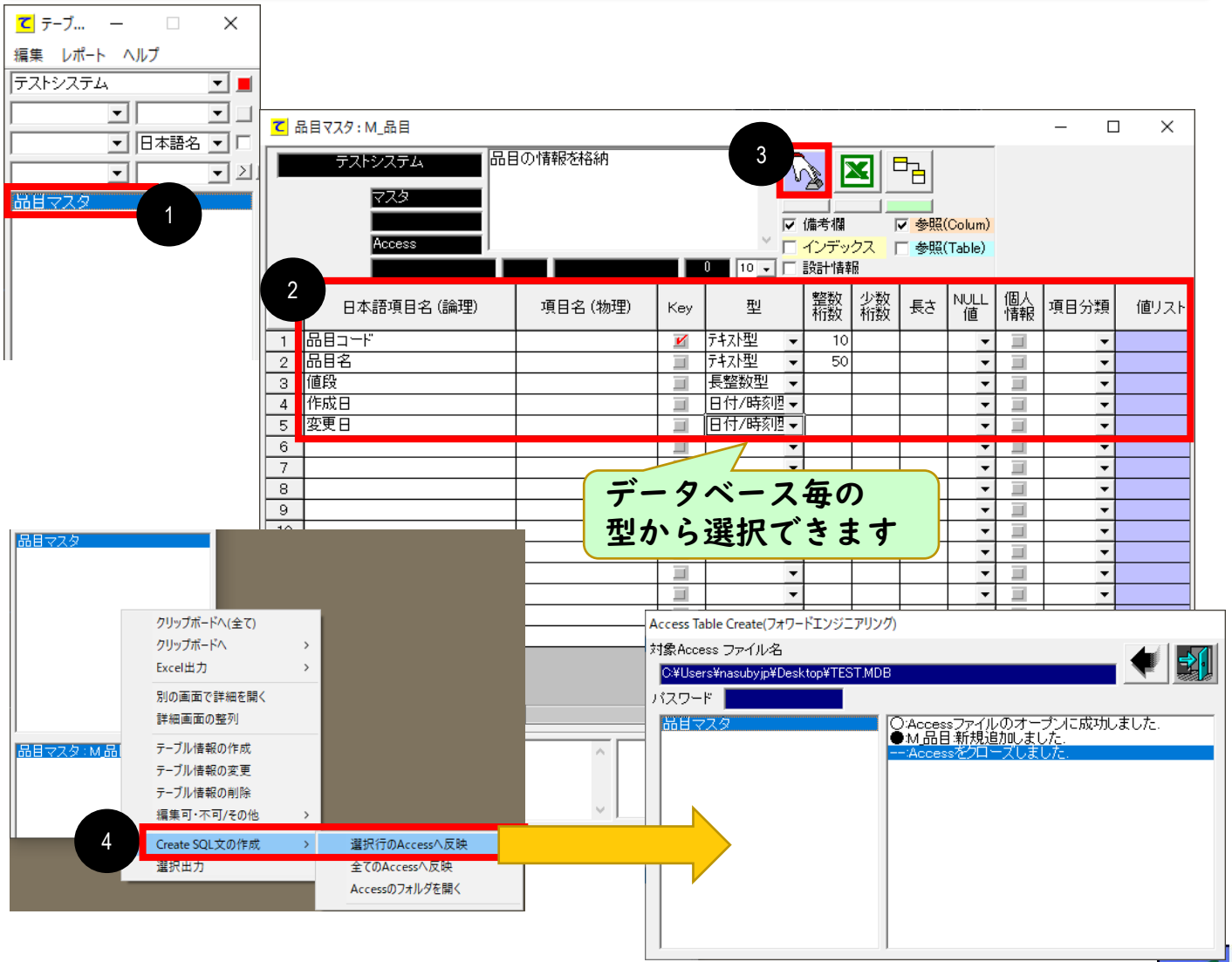
項目名を登録します。

① テーブル一覧画面で、対象のテーブルを選択すると右側に項目名の情報が表示されます。（新規の場合は、何も設定されていない）

② 必要な設定を入力してください。

③ で、入力した内容を登録します。
登録時に必要最小限のチェックが行われます。

④ システム情報でMDBファイルと紐づけしている場合は、MDBファイルに反映させることができます。

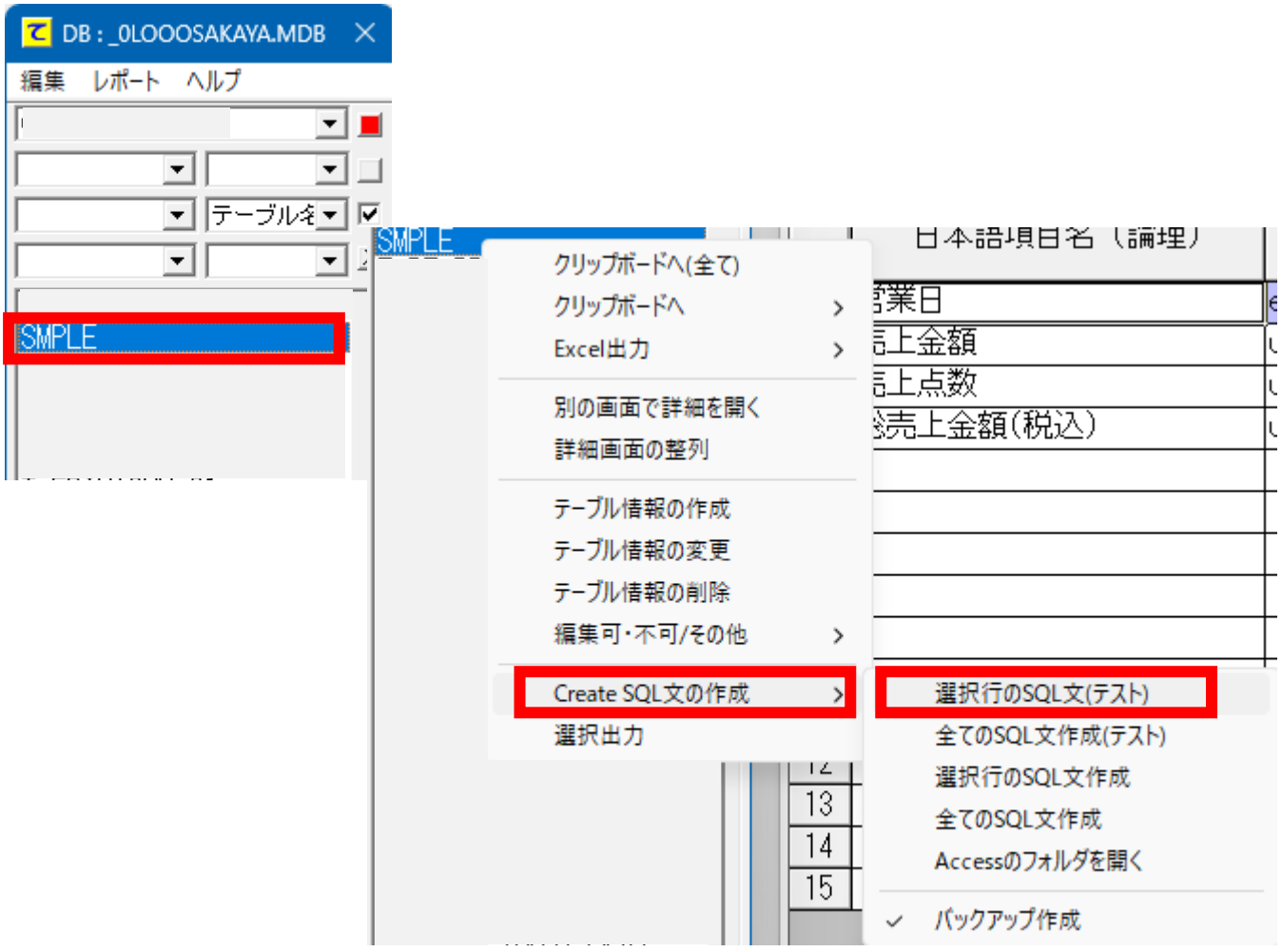


DDLの作成

① DDLを作成したい、テーブルを選択します。

② 右クリック ⇒ [CreateSQL文の作成] ⇒ [選択行のSQL文(テスト)]で
DDL文が作成され、表示されます。

⇒ DDLが作成できるデータベースは、下記の操作でほぼすべての
データベースに対して行えます。



リバースエンジニアリング

✓ TableEditorは、下記のデータベースからリバースエンジニアリングを行えます。

✓ 下記のデータベースが対象です。

・Access DataBase（MDB）（VB6.0）

・ Oracle / MySQL / SQL Server / PostgreSQL

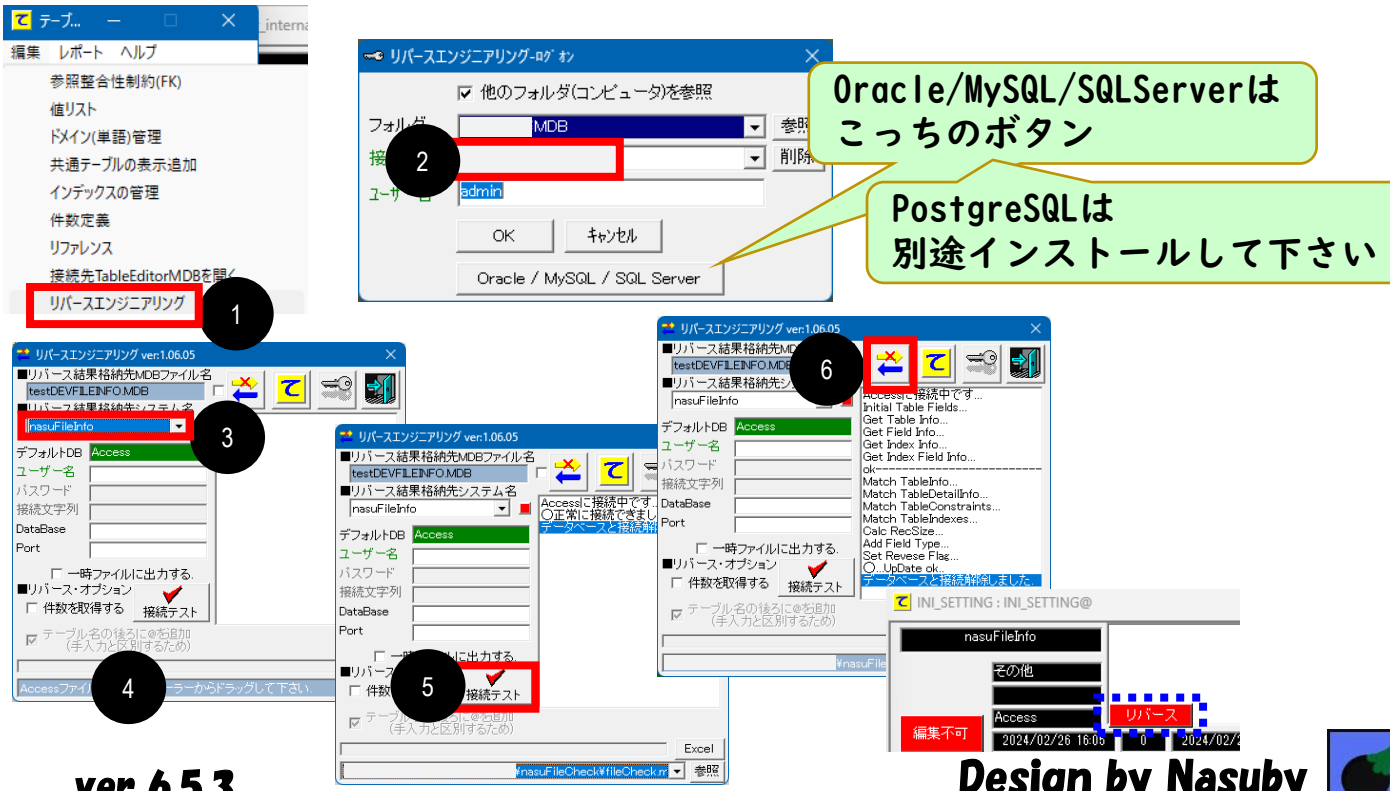
別のツール、nasuReverseDBtoTB.exe で行えます。(.NET framework)

⇒ 最新版をダウンロードしてください。

http://nasubyjp.gl.xrea.com/table001.html

・Access DataBaseのリバースエンジニアリング(MDB)

① TableEditorを起動して、[編集]⇒[リバースエンジニアリング]を選択する。
② リバース先(保存する)のMDBファイルを選択し、ログイン。
③ 保存先のシステム名を選択する。
④ リバース元のMDBファイルをドラッグ&ドロップする。
⑤ [接続テスト]で、接続できるか確認する。
⑥ で、リバースを開始する。
⇒ リバース後、TableEditorを開きテーブル詳細画面で[リバース]となります。



ver 6.5.3

Design by Nasuby

PostgreSQLの対応

✓ PostgerSQLの対応として、下記ができます。(姉妹品も使ってください)

1). Partationテーブルの定義作成（DDL文、作成支援）

TableEditorでできます。

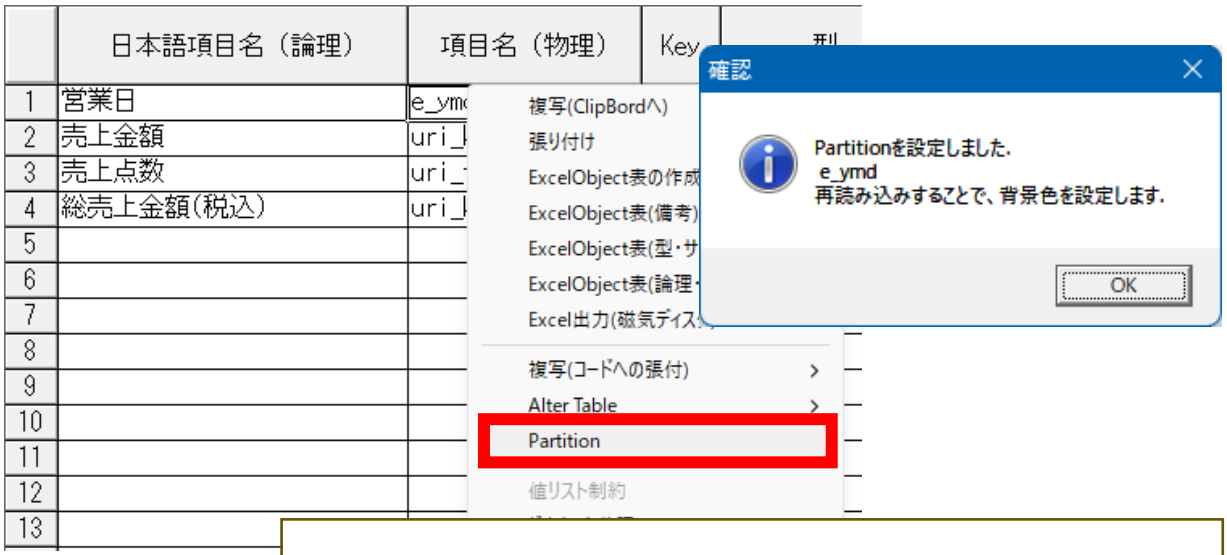
2). Partatrionテーブルの実テーブルの作成

PostgreSQL パーテーションテーブルの作成(リンクのツールでできます)

3). ログテーブルとログトリガーの作成

PostgreSQL ログテーブル用トリガー作成(リンクのツールでできます)

・PostgreSQLのテーブル定義を作成したうえで、対象の項目を選択し
テーブル詳細の[右クリック]⇒[Partition]をクリックしてください。
・DDLを作成すると、構文が追加されます。




```
CREATE TABLE SMPLE
  (
        e_ymd   date NOT NULL  -- 営業日
       ,uri_kin       numeric(10)  NULL      -- 売上金額
       ,uri_tensu     numeric(8)   NULL      -- 売上点数
       ,uri_kin_all   numeric(10)  NULL      -- 総売上金額(税込)
       ,PRIMARY KEY ( e_ymd )
)
PARTITION BY RANGE (e_ymd )
;
```

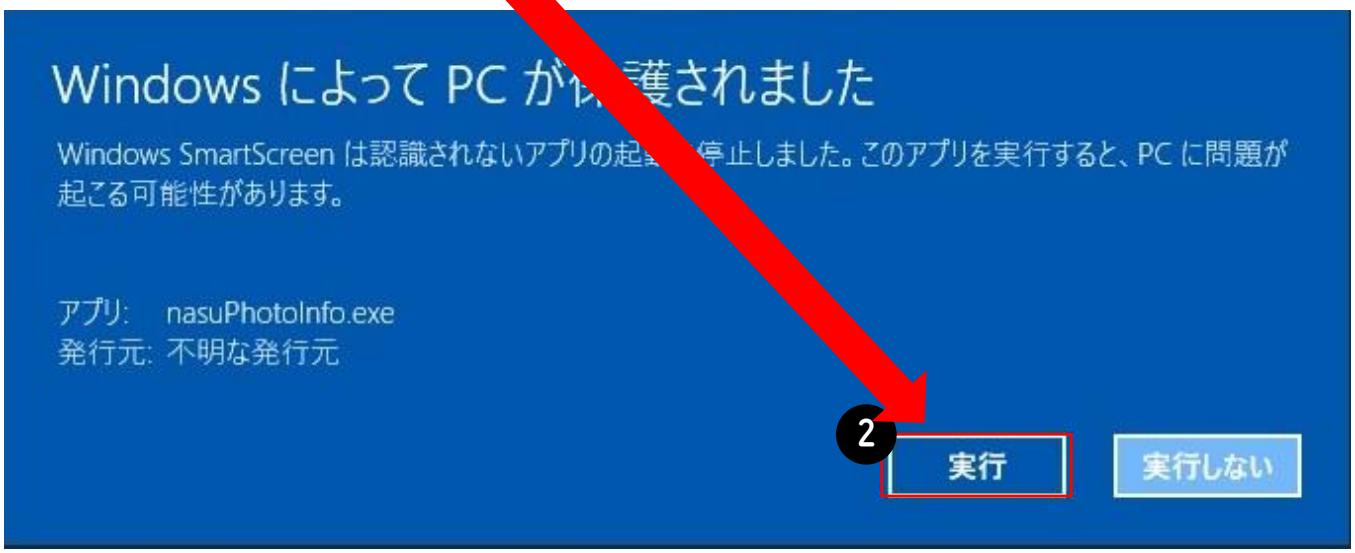
Windows10/11で動作

Windows10/11で、起動すると下記のような画面が表示される場合があります。
画面が表示されたら、手順にそって起動してください。

① ［詳細情報］をクリック

② ［実行］をクリック





ご利用について

1.本ソフトウェアについて

・本ソフトウェアの取扱い種別は、フリーソフトです。
・本ソフトウェアを利用した事により損害が発生しても、作者(nasuby)は一切の責任を負いません。
自己の責任の上で使用して下さい。
・本ソフトウェアの動作を、作者(nasuby)は保証するものではありません。
・配布、転載、雑誌掲載など自由に行って下さい。(事後報告お願いいたします。)
・その他ソフトを使用することで直接的に利益を生じる使い方をする場合は連絡して下さい。
・感想や要望、バグなどありましたらメールでお願いします。バグや要望など出来る範囲で応えいたします。

2.著作権等について

・著作権を含む、本ソフトウェア（本体、及び一部付属ファイル）の各種知的財産権については、作者(nasuby)が保持しています。
・ただし、本ソフトウェアの各暗号アルゴリズム及び一部コード、各種ソフトウェア等に関しては、それぞれの権利者が各種知的財産権を有しております。作者(nasuby)は、許諾済み or 使用フリー or 特許未出願 or ライセンス使用料納付済み等を行い、使用しています。

3.その他

・動作環境　　Windows 10/11

・必要なソフトウェア
　　Excel2016以上

・インストール必要
　　SetUpファイルがあります(VB6で開発)

※ 詳細については、下記URLから参照してください。
　　http://nasubyjp.gl.xrea.com/

作者へ連絡は、nasubyjp@gmail.com まで

